ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すと約 1.5 秒間文字板が発光します。
➠暗いところでも表示を見ることができます。



■ご注意■
- ●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード



＜表示の見方＞



●曜日の見方
SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

ワールドタイムモード



アラームモード



デイトアラートモード



タイムスタンプモード



ストップウオッチモード



※アラームモード、デイトアラートモードのまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。
※時刻モード以外の各モードで表示される現在時刻は、常に 24 時間制で表示されます。

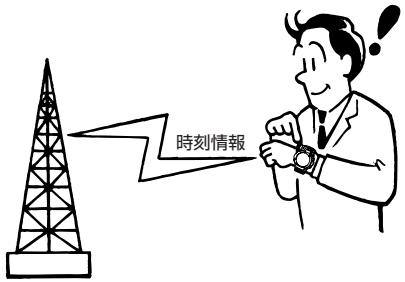
電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

★ 標準時とは

時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

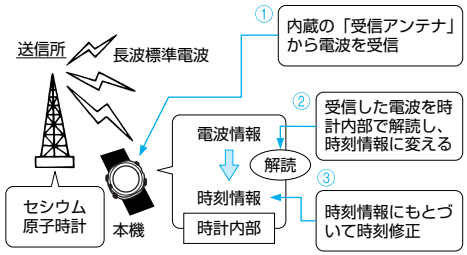


■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州のFort Collinsから送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。



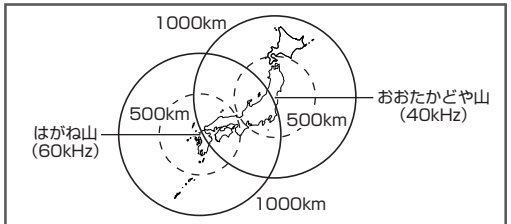
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます。（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）

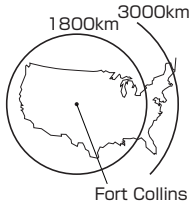
* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
LAX、DEN、CHI、NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。



●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによって受信できないことがあります。

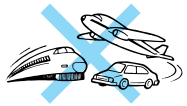
■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。


ビルの中およびその周辺
（ビルの谷間など）


高圧線、架線の近く


乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）


家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコンなど）


電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそばなど）


金属板の上、山の裏側…など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ２～６分です。

※ただし、受信電波の設定で「A/T」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

* 受信電波の設定については「■受信電波を選ぶ」参照。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを約２秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、受信を開始します。
受信中は受信マーク“”と受信インジケーターが変化します。

★ 受信を中止するときは

Ⓓ ボタンを押します

※受信中は Ⓓ ボタン以外の操作はできません。

★ 受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。

※受信マーク“”と受信インジケーターが点灯します。

★ 受信が失敗すると

時刻修正は行なわれず、“ERR”を表示します。

※何も操作をしないと、１～２分後時刻モードに戻ります。

■ 受信方法について

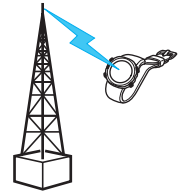
受信方法には、以下の２種類があります。

1 自動受信（午前２・４・６時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信前の準備

受信しやすくするために、本機を腕からはずし、右図のように時計上部（12時位置のアンテナ）が立つようにして電波送信所方向に向けます。



●時計上部が電波送信所方向（「■電波の受信範囲の目安」参照）に対してまっすぐ向いていないと、受信しにくくなります。
●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信感度を上げるために

腕からはずしたときは下図のようにできるだけ表示面を上にして置いてください。

＜樹脂バンドの場合＞



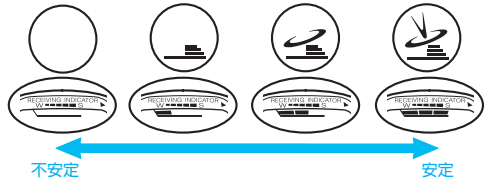
＜金属バンドの場合＞



●受信マークと受信インジケーター

受信中は受信状態によって受信マークと受信インジケーターが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約１０秒ほどかかります。

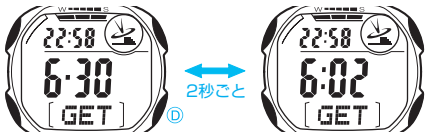
●受信マークと受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※月日と時分は２秒ごとに切り替わって表示されます。
※時刻表示に戻すには、もう一度 Ⓓ ボタンを押します。
※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



ご注意

●本機は「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を受信しますが、電波状況により「時・分・秒」のみ受信する場合があります。

●"📡"マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。

「時・分・秒」「年・月・日」を受信	📡点灯する
「時・分・秒」のみ受信	📡点灯しない

●「時・分・秒」のみ受信した場合、受信日時の確認で表示される月日は、受信時に時刻モードで表示していた月日となります。

■受信電波を選ぶ

ホームタイム都市をTYO（東京）に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。

* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

※工場出荷時には、「ホームタイム都市＝TYO（東京）、受信電波＝A/T」でセットされています。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡"On"または"OF"が点滅します。



2.「受信電波設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡受信電波の設定になります。



■自動受信のON／OFF設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡"On"または"OF"が点滅します。



2. ON／OFFを切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに自動受信のON／OFFが切り替わります。



●On 自動受信はONになります。
●OF 自動受信はOFFになります。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

3. 受信する電波を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、受信する電波を選びます。



●A/T 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
●JPN　40 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」からの電波のみ受信します。
●JPN　60 「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のみ受信します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。

●自動受信を行なう午前2時・4時・6時から12分程度は、ボタン操作を行なわないでください。自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。

●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。

●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

●電波受信を行なわないときは、平均月差±20秒以内の精度範囲で動きます。

●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。

●本機のカレンダー機能は2039年までですので、2040年以降は受信してもエラーとなり、カレンダーは2039年12月31日のままとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

原因：時刻モード以外のときは、手動受信はできません。
ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAX以外のときは、手動受信はできません。

処置：手動受信は時刻モードで行なってください。
ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAXのとき、手動受信を行なうことができます。「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」からの設定をご覧になり、ホームタイム都市を合わせてください。

「自動受信ON」に設定しているのに"📡"マークが消えている

原因："📡"マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません（毎日午前３時に消えます）。
"📡"マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。
自動受信のとき、時刻モードまたはワールドタイムモード以外のモードになっていた。

処置：電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
「受信成功」しやすい環境で使用してください。
自動受信を行なうときは、時刻モードまたはワールドタイムモードにしておいてください。
また、手動で時刻修正をすると、"📡"マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：サマータイムがONになっているか、ホームタイム都市設定を間違えていませんか。

処置：1時間進んでいるとき（DSTマーク点灯）はサマータイムがONになっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市を間違えています。
「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」からの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

ワールドタイムの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ワールドタイムは常に24時間制で表示されます。

ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

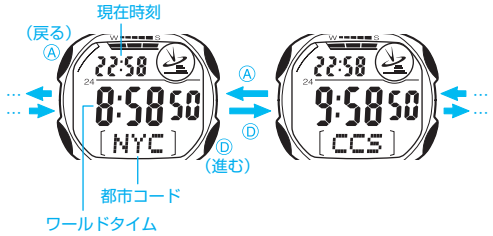
* セットについては「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐ ボタンを押すと戻ります。各都市の時刻が表示されます。
※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
――	–11		JRS	+2	エルサレム
HNL	–10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	–9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	–8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	–7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
CHI	–6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
NYC	–5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	–4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
RIO	–3	リオデジャネイロ	RGN	+6.5	ヤンゴン
――	–2		BKK	+7	バンコク
――	–1		HKG	+8	香港
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	TYO	+9	東京
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2001年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

■アラームの使い方

●アラームの種類

本機には、5本のアラームがあり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。
（通常アラーム3本／タイマー付きアラーム1本／スヌーズアラーム1本）

●通常アラーム（AL1～AL3）
セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。

●タイマー付きアラーム（TAL）
セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。
※セットした時刻までの残り時間を表示します。

●スヌーズアラーム（SNZ）
セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

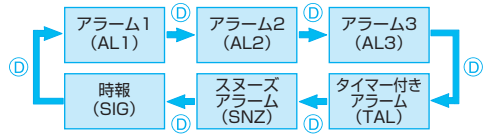
●アラーム時刻や残り時間を見る

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。





★残り時間表示について
タイマー付きアラーム（TAL）では、アラームをONにすると、セットした時刻までの残り時間を表示します。



●アラームのセット／アラームのON/OFF設定

1.セットしたいアラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、セットしたいアラームを選びます。



2.セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

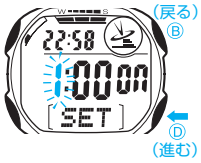
➡「時」が点滅します。
※セット状態にすると、自動的にアラームがONになります。



3.「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



※「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制（24）にご注意ください。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

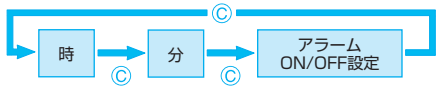
4.「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にⒹまたはⒷボタンでセットします。



※Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。



5.「アラームON/OFF設定」に切り替える

Ⓒ ボタンを押します

➡"On"または"OF"が点滅します。



6. ON/OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにアラームの ON/OFF が切り替わります。



● On
アラームは ON になります。
※アラームマークが点灯します。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。
※セットした時刻になると電子音が鳴ります。



● OF
アラームは OFF になります。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 時報の使い方

●時報について

毎正時（00 分）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

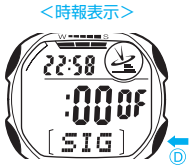
●時報の ON/OFF 設定

1. 時報表示を選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します

➡“On”または“OF”が点滅します。



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
※「●アラームのセット／アラームの ON/OFF 設定」の手順でアラームマークとスヌーズマークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

ご注意
スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報知を中断します。

- 時刻モードでセット状態に入る。
- アラームモードでセット状態に入る。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

3. ON/OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに時報の ON/OFF が切り替わります。



● On
時報は ON になります。
※時報マークが点灯します。
※毎正時（00 分）に電子音が鳴ります。



● OF
時報は OFF になります。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

デイトアラート機能の使い方

Ⓒボタンを押して、デイトアラートモードにします。

デイトアラートモードでは、誕生日や記念日などの月日を5本セットでき、設定した月日になると表示が点滅して知らせてくれます。

※デイトアラートモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

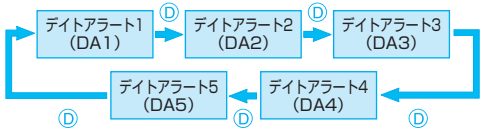
■ データを見る

デイトアラートモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。
※ 押し続けると早送りします。





■ デイトアラートのセット／デイトアラート機能のON/OFF設定

1. セットしたい表示を選ぶ

デイトアラートモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、セットしたい表示を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します

➡「月」が点滅します。
※ セット状態にすると、自動的にデイトアラート機能が ON になります。



3. 「月」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



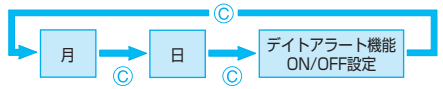
4. 「日」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➡「日」が点滅します。「日」も「月」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。



※Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。



5. 「デイトアラート機能 ON/OFF 設定」に切り替える

Ⓒ ボタンを押します

➡“On”または“OF”が点滅します。



6. ON/OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにデイトアラート機能の ON/OFF が切り替わります。



● On
デイトアラート機能は ON になります。
※設定した月日になると表示が点滅します。

● OF
デイトアラート機能は OFF になります。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■設定した月日になると

デイトアラート機能がONで、時刻モードのカレンダーと設定した月日が一致すると、表示が点滅して知らせてくれます。

※表示点滅は時刻モードのとき行ないます。
※日付が変わるまで点滅し続けます。
※「■デイトアラートのセット／デイトアラート機能のON/OFF設定」の手順でデイトアラート機能をOFFにすると、点滅が止まります。



■時刻データを見る

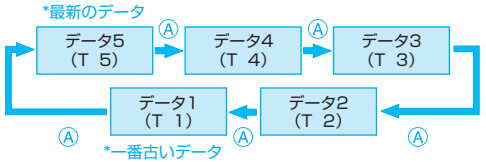
リコール表示のとき

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに最新のデータから順番に表示していきます。
※ 押し続けると早送りします。



例）時刻データを5件記憶したとき



■時刻データを消去する

スタンバイ表示またはリコール表示のとき

Ⓐ ボタンとⒹ ボタンを同時に押します

➡記憶したすべての時刻データが消去されます。
※ 時刻データ消去後、スタンバイ表示に戻ります。
※ 特定の時刻データのみ消去することはできません。



タイムスタンプ機能の使い方

Ⓒ ボタンを押して、タイムスタンプモードにします。

タイムスタンプモードでは、時刻データ（時・分・秒）を最大50件まで記憶できます。時刻データは記憶した順に見ることができますので、時刻を覚えておくときに大変便利です。

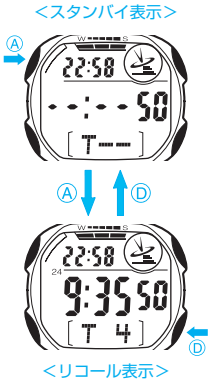
※タイムスタンプモードに切り替えると、スタンバイ表示になります。
※記憶した時刻データは常に24時間制で表示されます。

■表示切替について

スタンバイ表示のとき、Ⓐボタンを押すとリコール表示になります。

リコール表示とのとき、Ⓓボタンを押すとスタンバイ表示になります。

※スタンバイ表示では、時刻データを記憶させることができます（「■時刻データを記憶させる」参照）。
※リコール表示では、記憶した時刻データを見ることができます（「■時刻データを見る」参照）。
※時刻データを1件も記憶していないときはリコール表示に切り替わりません。



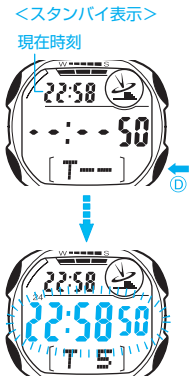
■時刻データを記憶させる

スタンバイ表示のとき

Ⓓ ボタンを押します

➡表示が点滅して、Ⓓ ボタンを押したときの時刻データ（時・分・秒）を記憶します。
※ 表示点滅後、スタンバイ表示に戻ります。
※ 最大50件まで記憶できます。

★データ自動入れ替え
記憶件数が50件を越えると、一番古いデータ（データ1）が消去され、以後、順番に番号が繰り上がって最新データが記憶されます。



ストップウオッチの使い方

Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

●計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後Ⓐ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

■セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します

➡"On" または "OF" が点滅します。



2. 「ホームタイム都市設定」にする

Ⓒボタンを2回押します

➡「都市コード」が点滅します。



3. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

* 都市コード一覧については「■都市コード一覧」参照。



4. 「サマータイム切替」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの切り替えになります。

* サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。



5. ON／OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの ON／OFF が切り替わります。

● OF サマータイムは OFF になります（通常時間）。
● On サマータイムは ON になります（夏時間）。 ※ DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。
● A 自動的にサマータイムの ON／OFF が切り替わります。 ※ホームタイム都市が TYO のときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAX のときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。 * アメリカのサマータイム期間＝ 4 月の第 1 週日曜日の AM2:00 ～ 10 月の最終日曜日の AM1:00

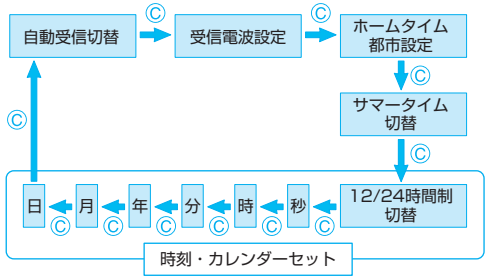
※ホームタイム都市がHKG、TYO、SEL、NYC、CHI、DEN、LAX、ANC、HNL以外のときは、「OF」⇔「On」で表示が切り替わります。

6. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンで点滅箇所をセットします。

★「12/24 時間制切替」のときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 "12H" と 24 時間制表示 "24H" が切り替わります。



★「秒」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すと「00 秒」からスタートします。

※秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30～59のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）



★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制（24）にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。